

だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里

「だいち」広報委員会

〒349-0101

埼玉県蓮田市黒浜1045-1

TEL 048-764-3881

FAX 048-764-7788

H P <http://minuma-hukushi.com/>



関口忠司

巻頭コラム

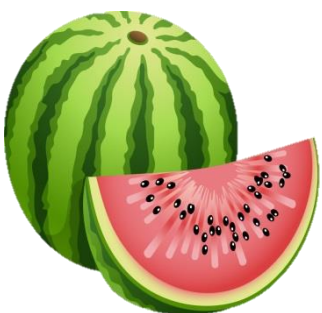
こんにちは。今年度も広報だいち担当となりました、面来です。

今年度広報担当の仲間は、田村美弥さん、土屋莉恵さん、関口忠司さん、神永真理子さん、近野茂治さんの5名で、昨年度と同じメンバーとなります。仲間のコーナーではこれまで同様に、仲間たちが日常の中で感じていることや完成した作品を紹介したり、大地での様子なども発信していけたらと思っています。

職員は北隅さん、岡部さん、安藤さん、小原さん、面来の5名です。新たに3人のニューフェイスを加え、さらに見やすく、たくさんの方とを載せていきたいと思っています。

今年度も広報だいちをよろしくお願いします。

面来 愉（職員）



日帰り旅行・山

7月5日に日帰り旅行で軽井沢に行ってきました。メンバーは新井さん、小坂井さん、佐藤さん、関谷さん、土屋莉恵さん、村上さん、新井母、小坂井母、佐藤母、村上母、小田嶋さん、猪狩さん、柳沢さん、高橋の計14名で行きました。女子旅です。行きの車の中では、村上さんの元気なお喋りでこれから旅行に行くというワクワク感が伝わってきました。前日が台風の影響で大雨だった事もあり、旅行当日も天気が悪いのではないかと心配していましたが、台風はわたし達の旅行に合わせるように過ぎてくれて、当日はとても良い天気に恵まれました。行きの道中では太陽の周りに虹が出ているのも見る事が出来ました。

軽井沢に到着すると、とても涼

しく、梅雨の時期とは思えないほどに爽やかでした。新井さんは気がよいのかぐっすりと寝ておりとても気持ちよさそうにしていました。



最初はお蕎麦屋さんに入りました。お蕎麦屋さんでは土屋莉恵さんがジョッキのビールをストローで豪快にとてもおいしそうに飲んでいたので印象的です。天ぷら蕎麦や山菜蕎麦など皆さん美味しい料理を堪能しました。佐藤さんの

若いころの話等で盛り上がりながら楽しいご飯の時間となりました。

お腹がいっぱいになったところで次は蕎麦屋さんの隣にある牧場に行きました。牧場ではヤギやアルパカ、ウサギ等、色々な動物と触れ合いました。ヤギが鳴くと村上さんも真似して「メエー」と言って皆さんを笑わせてくれました。関谷さんはウサギに餌をあげていました。もりもり餌を食べる



ウサギに癒されていたように思います。

帰りは自分や、家族、友人にお土産を買って大満足で帰路につきました。私自身初めての旅行だったのですが、仲間の楽しそうな様子をたくさん見ることが出来てとても良い旅行となりました。

高橋 茂奈美（職員）

風ふう歩作品展

今年も大地「風・ふう・歩」作品展が開催されました。今年13回目の開催となりました。

毎年、梅雨時期に行なわれる作品展ですが、今年は4日間とも見事に快晴でした。そのおかげでたくさんの方にご来場いただくことができました。

大地の仲間たちが仕事で作ったせっけん、書と絵画、さをりの反物とさをり製品、園芸療法で作った夏らしい小物の数々、ボランティアの方が作ってくれたかわいい製品、他施設からのたくさんの委託製品などが、交流スペースに並びとても賑やかな会場にすることが出来ました。期間中には恒例となっている「園芸教室」、「書実演販売」、「さをり体験教室」も行われ、たくさんの方に楽しんでいただきました。喫茶では美

味しいコーヒーと美味しい飲み物を販売しました。こちらも大盛況で、今年もボランティアの方々がお来場されたお客様たちをもてなしてくれました。こうした皆様の活躍がなければ喫茶を営業することは出来ません。本当に感謝です。



作品展は仲間たちの1年間の仕事の成果を施設外の人たちにみてもらう大切な機会となっています。仲間同士が協力し合い、時にはライバル同士のように競い合い仕事に取り組んでいます。その成果をたくさんの方

方にみていただき評価して頂くことが仲間、職員の喜びになっています。店番に出て一生懸命呼び込みを行う仲間、職員と一緒に会計を手伝う仲間、商品を説明して回る仲間、それぞれの想いが行動になって表れています。日々の仕事だけでなく、このように仲間が率先して役割を持ち、作品展を盛り上げようとしている姿を見ると「作品展の準備が大変だったけど今年もやってよかったな」「来年も頑張ろう」と思えます。



毎年たくさんの方の協力で作品展が成り立っています。これまで13回も開催して来る事ができたのも家族の皆さまボランティアの方々、そしてご来場して頂いているお客様のおかげです。この場をお借りして日頃大地の仲間たちの活動を応援してくれている皆様に感謝の気持ちを伝えさせて頂きます。これからも仲間と職員一生懸命、力を合わせて頑張っていきます。よろしく願います。

野村 勇作（職員）



アート仲間展

6月28日から4日間、伊奈町の埼玉県民活動センターでアート仲間展が開かれました。いろいろな事業所からたくさん作品が展示され、今年は200点を超えました。どの作品を見ても、とても個性的で、作者の気持ちや声、生き方が感じ取れるようで、楽しい作品展だと思いました。

一日目にはワークショップが行われ、130人も参加者が来場し、大盛況でした。内容は大きなテーブルクロスに、みんなで色とりどりの染料を使い、自由に好きなふうに描いていき、1つの作品を創り上げるというもの。すでに描かれている上に重ねて塗ることもオーケーで、そういう自由さが面白い作品を生み出しています。

私は受付を担当していて、お客さんがこない時には、絵を直したりしていました。その時にいろいろな絵を眺め

る機会となり、気に入った作品を何個も見つけることができました。どうやら私は、シンプルな作品が好きなようで、お気に入りの選ぶ作品は、線で描かれた作品であったり、少ない色で描かれたものを選んでいました。アンケートの集計でも実に幅広い作品に投票されていました。人それぞれに好みがあっていて、複雑なものが良かったり、はっきりわかりやすいもの、抽象的なもの等様々です。今回来られなかった方も次回機会があれば、是非見に来てください。きっとお気に入りの作品に出合えることでしょう。

大浦 健一（職員）



暮らしの場学習会

6月27日、交流センターで暮らしの場学習会が開催されました。暮らしの場4施設（太陽の里、大地、サンライズ、オレンヂホーム）から、各施設の概要、暮らしの場の到達点としての仲間達の変化、現状の課題、将来への展望という項目に沿って話がされました。

太陽の里では個々の暮らしが確立され、集団生活を通して家族に次ぐ大切な存在を作れたり役割を通して充実感が芽生えている一方、短期入所受け入れが多く集団として大きすぎてしまうことや建物の機能が仲間の暮らし方に合わなくなってきていること等が課題としてあげられました。大地では、協力し合える集団が作られ、仲間達が役割を持ち主体的な暮らし作りが進められた一方、医療的ケアの必要性が高まり、仲間達のねがいに追いつけていない現状が課題としてあげられました。サンライズでは、家族以外のひとの暮

らしを通じた経験の積み重ねから社会性が育まれるといった変化があるが、職員の高齢化や正規職員の配置の難しさ、入居後の定着支援（本人に合った生活の場の検討）等が課題としてあげられました。オレンヂホームからは、自分のことを受け入れてもらえる経験を重ね、ホームを自分の居場所として受け入れられたり、家族ではない自分にとって大切な人（ここにいて当然の人）ができていて一方、建物人が人を選ぶようになってしまっていること、「家族的」「地域の中で」という言葉で簡単に済まされている今の制度についても課題としてあげられました。

どの施設にも共通した成果や課題があり、その課題に対し生活の質を上げるための工夫を今後も継続していくと同時に、川口に新たな生活の場ができるにあたって、それぞれの施設がまたどう変わっていくかが重要であるとの話がされました。

面来 愉（職員）

文化担当から

6月15日、身障協のスポーツ交流会に行ってきました。大地からは仲間を代表して、田村美弥さん、神永真理子さん、嶋修二さんの3人が参加をしてくれました。

今回の交流会の競技はポッチャです。お揃いのTシャツを着ている施設やポッチャ用のレーンを持参している施設までいて、「こんなに気合が入っているなんて・・・」と少々尻込みしてしまいました。私たちは楽しんで帰ろうね！」とみんなで気合いを入れ、ポッチャ大会がスタートしました。

いざ試合が始まってみるとこの施設にもスーパージョットを繰り出す方がいたり、レベルの高さに圧倒されました。しかし大地も負けてはいません。遠くのボールのそばにしっかり寄せる田村さん。ジャックボールに直接当てて逆転勝利を導く神永さん。毎回ピタ

リとジャックボールのそばに寄せて他施設の方から大絶賛の嶋さんと、3人がそれぞれに大活躍し、予選グループでは4戦4勝。準決勝に難なく進むことができました。準決勝では惜しくも負けてしまいましたが、みんな大健闘！17チーム中4位という好成績で幕を閉じました。

試合の間では田村さんが職員や嶋さんにボールを投げるコツを聞いて練習をしたり、神永さんや嶋さんは昔一緒に外出した話に花を咲かせたりと、終始楽しく穏やかな時間を過ごすことができました。大地に帰ってから「すごく楽しかった！」と嬉しそうに職員や仲間たちに話している仲間もいて、良い思い出になって良かったなと思います。またいろいろな仲間が参加し、他施設との交流やポッチャの楽しさを感じてもらえたらなと思います。

面来 愉（職員）

リハビリ担当から

こんにちは、今年度リハビリ担当の堀江です。今回は「意欲」について報告したいと思います。

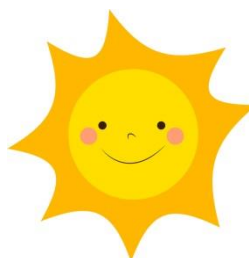
リハビリを行う上で大切な要素は、リハビリをする本人の意欲であります。「嫌々やっている、やらされているリハビリ」と、「出来るようになりたい、自由に動かせるようになりたいと強く願ってやるリハビリ」とでは、明らかにリハビリの効果に差が出ます。これは精神医学の世界でも証明されています。例えば歩けるようになりたいと本人が強く思い込むことによって、脳から指令が出ることで、実際歩けるようにならなくてもそれに近い効果が現れるということです。朝の情報TV番組「スッキリ」でもやっていたので確かな情報です。

仲間の中にも一生指だけは動かせるようにしていきたい、という気持ちが強

い仲間がいて、リハビリを一生懸命行っている中で未だに指の操作に衰えがありません。その仲間の難病では、今指が動かせなくなってもおかしくはないですが、細かい動作まですることが可能になっていて、この点から見てもいかに本人の意欲が大事ということがわかります。

しかしながら、大地の仲間の中には「意欲」を持つことが難しい仲間達があります。その仲間達に対し仲間から「辛いけど一緒に頑張ろうよ」と声をかけてくれたりして、意欲を持つことの大切さを実感している仲間も多くなります。すべての仲間達に「意欲」を持ってもらえるよう、丁寧な声掛けをしていくことを大事にしていきます。

堀江 正人（職員）



第15回 蓮田太陽の里
大地まつり



雨天決行！

日時：2017年9月24日(日)
10:00～15:00 予定
場所：蓮田市黒浜 1045-1

10:00~15:00 予定

場所：蓮田市黒浜 1045-1

蓮田太陽の里 大地

模擬店・バザー・フリーマーケット

仲間が作った授産品の販売・子どもの店

☆大抽選会 14:30~

音楽を中心としたステージ

フリーマーケット出店希望者募集！！

バザー品（雑貨など）募集しています。

詳しくは「蓮田太陽の里大地祭り実行委員会」までお問い合わせください。



連絡先 TEL048-764-3881 FAX048-764-7788

主催 第 15 回 蓮田太陽の里 大地祭り実行委員会・「大地」家族会
みぬま福祉会後援会

担当 富谷・藤村・堀江・池沢・高崎・長谷川・島村・猪狩

***混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。**

なかまと

みんなの

輪



まりこの 素敵な日常

うちでカントリーロード
のテレビをみました。く
すりは、だいちでいれま
した。ねまきのまま
かえってきました。

まりこ

あつというわなうで、やむい。と
いってほしいなあ。オーエスワンのん
でみましょう。

みや



ゆかいに したい



さくひんでんでおかあさんの
プレゼントをいただきました。
(ピンクのさをりコースター)

りえ



おすすめ

しずのひん

ボランティア ウェス・古本・バザー-品の募集

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

②ウェスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウェス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、大谷）

②ウェス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう
ございました！



高山 栄一様
岩上 めぐみ様

29年7月度に寄付して下さい下さった方

ありがとうございました

近野茂治の
今月のイイネ！



軽井沢旅行で
触れ合ったヤギ
だって！
迫力満点でかっ
こいいねえ～



大地 8 月の予定

3	(木)	夏の打ち上げ
5・6	(土・日)	全障研全国大会・鹿児島
11	(金)	水遊び（夏プロ）
12～ 19	(土 ～日)	夏季集中帰省
13	(日)	迎え火（夏プロ）
15	(火)	送り火（夏プロ）
16	(水)	花火をしよう（夏プロ）
17	(木)	肝試し（夏プロ）
18	(金)	ビアガーデン（夏プロ）

課業より

暑いあつい夏がやってまいりました。本当に暑い。皆様いかが過ごしてでしょうか。

夏と言えばポーナス。8月2日に夏の打ち上げで仲間たちのポーナスが支給されます。この広報が出るころにはもうすでに終わっていますが、一体いくら支給されたのでしょうか。ポーナスと言えは半年間仕事を頑張ったご褒美でとても嬉しいことですね。家族に発泡酒じゃないビールをプレゼントする親孝行な仲間がます。他の仲間たちはどんなことにポーナスを使うのでしょうか。今からまた冬のポーナスが楽しみですね。夏秋はイベントが沢山あるので頑張ってください。

野村 勇作（職員）



<広報だいち> 広報委員会（職員） 面来・北隅・安藤・岡部・小原
（仲間） 田村・神永・土屋莉恵・関口・近野